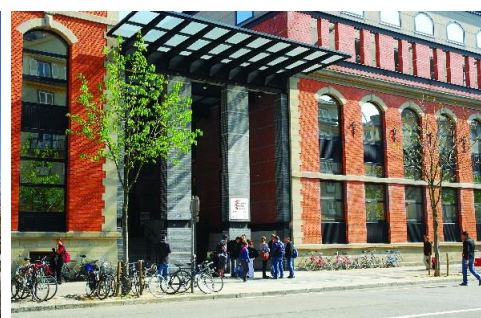


## INDEX

1	Business Studies Abroad II・IV募集の流れ	.....	P3
2	Business Studies Abroad II・IVとは？	.....	P3
3	応募資格について	.....	P4
4	留学予定先について	.....	P5
5	学籍と受講登録について	.....	P6
6	留学決定後の事前ガイダンスについて	.....	P7
7	応募書類について	.....	P7
8	選考方法について	.....	P7
9	留学に関わる費用・奨学金について	.....	P8
10	単位認定と成績評価	.....	P9
11	注意点	.....	P9
12	個人情報について	.....	P9
13	立命館大学経営学部 BSAプログラムに参加するにあたっての遵守事項	.....	P10
14	派遣先大学紹介	.....	P12



※TOEIC®、TOEFL® はEducational Testing Service(ETS) の登録商標です。

## 1 Business Studies Abroad II・IV募集の流れ

以下のとおり、2018年度夏期出発BSA II・IVの募集を行います。

項目	場所	日程（選考年度：2017年度）	その他
ガイダンス	A棟1階 Room7	10月6日（金）12：15～	※各回、過年度派遣学生によるプレゼンテーションあり。詳細はガイダンスのお知らせを確認してください。
		10月13日（金）12：15～	
		10月18日（水）12：15～	
応募書類提出期間	【応募書類配布/提出】 OIC学びステーション	10月16日（月） ～11月2日（木）17時【厳守】	
面接期間	AC事務室 面談室	11月6日（月）～11月8日（水）	30分間程度の面接
派遣許可者決定	CAMPUS WEB	11月29日（水）	

## 2 Business Studies Abroad II・IVとは？

BSA II 及びIVは、経営学部で学んでいる皆さんに、自らの専攻する学問に対して国内だけでなく、グローバルな社会の要請や意義を確かめ学んでいただく、経営学部独自の留学プログラムです。留学先大学で修得した外国語や専門科目は、経営学部の単位として認定されます。そのため、留学前の本学での学修と留学先での学修を積み上げていれば、留学したことで卒業が遅れることはありません。またこのプログラムの基本は交換留学であり、学費は本学と留学先大学との間で相殺になるため(派遣型留学を除く)、留学先に学費を支払う必要はありません。「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」に基づき、留学期間に応じて奨学金も支給されます。

BSA II 及びIVは、国際経営学科で学ぶ皆さんが、グローバルな視点に立って世界を舞台に活躍する「ビジネス・リーダー」になるために開発されたプログラムです。

共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営系の大学やビジネススクールで各自の経営学の専門分野に応じた正規留学科目を受講することができます。</li> <li>原則、中国の大学では中国語、それ以外の派遣先大学では英語で開講される授業を受けることとなります。派遣先大学によってはその派遣先国の言語で開講される授業も受講できます。また、各自の語学レベルによっても派遣先国の言語で開講される授業の受講が許可される場合があります。</li> </ul>	BSA II	1セメスターの交換型留学
		BSA IV	2セメスター、3セメスターの交換型 / 派遣型留学

### 3 応募資格について

プログラムの応募資格は次の1)～6)の通りです。

- 1) 応募時に経営学部1・2回生であること。(3回生で応募希望の方は、事務室まで相談に来てください。) ※大学院生は対象外
- 2) 累計もしくは直近セメスターのGPAが2.75～3.0以上であること。
- 3) 留学先の定める語学基準を満たしていること。  
※詳細は「4-1. 派遣先一覧」の語学基準欄を参照してください。  
※経営学部では申請と所定の審査に基づき、講座や検定試験の受講・受験料の補助を下記の通り行っています。  
詳細は経営学事務室までお尋ね下さい。  
【 英 語 圏 】・CLA (言語修得センター) の講座受講料 25,000円 (上限) ※在学中1回まで  
・TOEFL iBT®テスト、IELTS、IELTS for UKVIの受験料 15,000円 (上限) ※1年度中1回まで  
【 中 国 語 圏 】・孔子学院の中国語講座の受講料補助制度については、孔子学院ホームページにて確認のこと。
- 4) 本プログラムの趣旨・目的を理解し、留学前、留学後に行われるガイダンスやオリエンテーション、現地での学修のすべてに参加可能であること。
- 5) 留学先のプログラムについて、多大な関心と意欲を持っていること。
- 6) 留学直前のセメスターに立命館大学に在学していること。

\* 経営学部では、長期留学予定学生が留学派遣先大学でより充実した学習ができるよう、留学前もしくは留学後の教育として、英語もしくは中国語による「プロジェクト研究 (GBLプログラム型)」を開講しています。GBLとはGlobal Business Leadershipの略称で、「プロジェクト研究 (GBLプログラム型)」とはグローバルな視点に立って世界を舞台に活躍するビジネス・リーダーの育成を目標に設計されている科目です。BSA留学プログラム、および全学留学プログラムにて海外に留学に行く学生はぜひ受講してください。



memo

## 4 留学予定先について

### 4-1.派遣先一覧

国・地域名	派遣先大学	所在地	派遣期間 (※1)		派遣人数 (※2※3)	GPA	語学基準 (※4)
			II	IV			
中国	大連外国語大学 (交換留学)	遼寧省大連市 (旅順)	8月下旬～ 翌年1月中旬	8月下旬～ 翌年7月中旬	3名程度	2.75 以上	派遣までに新HSK4級(180～194点)以上/または中国語検定3級以上を取得する事が望ましい
	對外經濟貿易大学 (交換留学)	北京市	8月下旬～ 翌年1月中旬	8月下旬～ 翌年7月中旬	2名	2.75 以上	II：応募時に新HSK5級(195点～209点)以上 IV：派遣までに新HSK4級(180点～194点)以上
タイ	タマサート大学 ビジネススクール (交換留学)	バンコク	8月下旬～ 12月下旬	8月下旬～ 翌年5月	3名程度	3.0 以上	TOEFL iBT®テスト79点以上/ TOEFL PBT®テスト550点以上/ またはIELTS 6.0以上
スウェーデン	ストックホルム大学 ビジネススクール (交換留学)	ストックホルム	8月中旬～ 翌年1月下旬	8月中旬～ 翌年6月上旬	3名程度	2.75 以上	TOEFL iBT®テスト79点以上/ TOEFL PBT®テスト550点以上/ またはIELTS 6.0以上
フランス	ストラスブール大学 EMストラスブール ビジネススクール (交換留学)	ストラスブール	8月下旬～ 12月下旬	8月下旬～ 翌年4月下旬	3名程度	2.75 以上	TOEFL iBT®テスト72点以上/ TOEFL PBT®テスト520点以上/ またはIELTS 5.5以上
	エセムビジネススクール ポアティエキャンパス (交換留学)	ポアティエ	8月下旬～ 12月下旬	8月下旬～ 翌年5月下旬	3名程度	2.75 以上	TOEFL iBT®テスト79点以上/ TOEFL PBT®テスト550点以上/ またはIELTS6.5以上(各項目6.0以上)
	エセムビジネススクール トゥールキャンパス (交換留学)	トゥール					フランス語検定2級以上 (DELF B2レベル)
ドイツ	ブレーメン州立経済 工科大学 (交換留学)	ブレーメン	9月下旬～ 翌年2月下旬	9月下旬～ 翌年7月中旬	3名程度	3.0 以上	TOEFL iBT®テスト71点以上/ TOEFL PBT®テスト530点以上/ またはIELTS 5.5以上
	アーヘン応用科学大学 (交換留学)	アーヘン	9月上旬～ 翌年2月下旬 夏期集中トイ 語コース含む	9月上旬～ 翌年7月中旬 夏期集中トイ 語 コース含む	3名程度	2.75 以上	TOEFL iBT®テスト62点以上/ またはIELTS 5.5以上
イギリス	レディング大学 【派遣型留学】	レディング	IIなし	8月上旬～ 翌年3月下旬 夏期集中英語コース 含む	10名程度	2.75 以上	IELTS for UKVI 5.0点以上 (2016年度より、イギリスビザ取得において IELTS for UKVI Academic の受験が 必須となりました。)

(※1) 派遣時期は若干ずれることがあります。(※2) BSAIVで学生を派遣する際の派遣人数を記載。

(※3) 応募者多数の場合は、調整を行った上で第二志望の大学に派遣となる可能性があります。

(※4) 對外經濟貿易大学の語学基準(新HSK)は、BSA IIへの応募時のみ必須条件です。

### 4-2.授業形態

#### 【中国語基準による留学】

- ・ 對外經濟貿易大学では次のような学修が可能です。
  - ①BSA II (0.5年)の場合、上記語学基準を満たした上で、中国語で専門科目を履修する。
  - ②BSAIV (1年)の場合、ビジネス中国語、中国語で専門科目を履修する。
  - ③BSA II・IV、いずれもインターンシップ(別途審査があります)を受講。但し、インターン先はご自身で探していただきます。  
※語学学習を目的として留学を希望する方には、大連外国語大学への応募を推奨します。
- ・ 大連外国語大学では次のような学修が可能です。
  - ①中国語科目、一部の経済・経営科目を履修する。  
※経済・経営科目を受講する場合は、新HSK4級(210～300)以上の取得が条件です。
  - ②インターンシップ(別途審査があります)を受講。但し、インターン先はご自身で探していただきます。

#### 【英語国語基準による留学】 - 各自の専門分野に応じたビジネススクールの正規科目(英語開講科目)を受講。

- ・ 各大学とも現地の言語の初歩レベルの科目を履修可能。
- ・ また、現地の言語のレベルにより正規科目(現地言語にて開講される科目)を受講できる可能性があります。  
※エセムビジネススクール・トゥールキャンパスでは授業がフランス語で行われます。

## 5 学籍と受講登録について

### 5-1.学籍

夏出発のBSA II・IVプログラムで留学する際に、立命館大学での学籍が「在学」から「留学」に変更になる期間は以下の通りです。

派遣大学	BSA II	BSAIV
大連外国語大学	秋セメスター	秋セメスター・春セメスター
対外経済貿易大学（春出発）	秋セメスター	秋セメスター・春セメスター
タマサート大学	秋セメスター	秋セメスター・春セメスター
ストックホルム大学	秋セメスター	秋セメスター・春セメスター
ブレーメン州立経済工科大学	秋セメスター	秋セメスター・春セメスター
アーヘン応用科学大学	秋セメスター	秋セメスター・春セメスター
ストラスブール大学	秋セメスター	秋セメスター・春セメスター
エセムビジネススクール	秋セメスター	秋セメスター・春セメスター
ポアティエキャンパス	秋セメスター	秋セメスター・春セメスター
エセムビジネススクール	秋セメスター	秋セメスター・春セメスター
トゥールキャンパス	秋セメスター	秋セメスター・春セメスター
レディング大学		秋セメスター

### 5-2. 帰国後受講予定の立命館大学開講科目 受講登録について

【2018年1月より「履修手続き」が一部変更となり、受講登録については以下の手順で行います。】

- ・ 受講登録が年2回に変更し、春セメスター分は4月に、秋セメスター分は9月に行います。
- ・ 時間割および履修・登録の手引きは、manaba+Rに掲載されるので各自確認してください。
- ・ 登録方法、期間、時間は全て日本で登録する学生と同じ条件であり、かつ日本時間で管理されます。

#### A.【春セメスター授業開始日の前日までに留学し、留学終了届が受理された場合】

在学生と同じ日程で受講登録を行ってください。必要に応じて留学先から受講登録をしておいてください。

※3月31日までに所定の用紙（「留学終了届」）を提出することが前提となります。

#### B.【春セメスター授業開始日～4月30日以前に帰国する場合】

帰国日が立命館大学春セメスター授業開始日を過ぎる場合は、受講可能な科目に以下の①、②の通り制限があるため注意してください。

※帰国日が5月1日以降となる場合、春セメスター科目・通年科目を受講することはできません。

##### ① 春セメスター科目・通年科目

教養科目・外国語科目の受講は不可。専門科目のうち一定の科目を除き受講可能。受講可能科目の詳細及び登録方法は、登録時期に別途案内があります。また、欠席した授業については、適宜課題等が提示されます（予定）。

##### ② 秋セメスター科目/夏期集中講義

具体的な受講登録手続きは、登録時期に別途案内があります。

#### C.【5月1日以降に帰国し、留学終了届が受理された派遣者】

5月1日以降に帰国した場合は秋セメスターより復学するので、【秋セメスター授業から】受講が可能となります。

在学生と同じ日程で秋セメスターに受講登録を行ってください。

#### 【抽選科目に関する注意点】

- ・ 抽選科目は一旦受付がされると、一切削除することはできません。
- ・ 抽選科目は、Web申請受け付け後、空きのあるクラスについて、追加募集がかけられる場合があります。CAMPUS WEBやホームページを随時確認してください。

## 6 留学決定後の事前ガイダンスについて

留学前に2～3回程度ガイダンスを行います。派遣には、このガイダンスへの出席が必須です。ガイダンスに出席できない見込みがある場合は、BSA II・IVに応募出来ません。  
許可を得ずにガイダンスを1回でも欠席すると、派遣先大学での留学参加を取りやめる場合がありますので、注意してください。  
また、保健センターが主催する健康管理ガイダンスや危機管理ガイダンスにも必ず参加してください。  
※原則、授業以外での欠席理由については一切許可しません。予めご了承ください。

## 7 応募書類について

### 7-1. 応募書類

書類は黒のボールペンで記入し、A4サイズに揃えて左上をホチキスどめの上提出すること。

- 1) BSA II・IV応募書類チェックリスト
- 2) BSA II・IV申込書
- 3) BSA II・IVを希望する理由
- 4) 進路計画書
- 5) CAMPUS WEB上の成績情報（照会）のコピー（2017年度前期まで）  
※必ず氏名とGPAが分かるようA4サイズに縮小し提出すること。  
※成績証明書は累積GPAが掲載されていない為不可。
- 6) 外国語検定試験のスコア証明書の写し  
※派遣先大学に書類を送付する日から遡って2年以内に受験したもののみ有効。  
【英語圏】  
TOEFL iBT<sup>®</sup>テスト、TOEFL PBT<sup>®</sup>テストまたはIELTSのスコア表のコピー  
【中国語圏・大連外国語学院】  
（検定受験済みの場合）：中国語検定またはHSK(漢語水平考試) スコア表のコピー  
【中国語圏・对外経済貿易大学】  
（BSA IIに応募する場合）：HSK(漢語水平考試) スコア表のコピー
- 7) パスポートの写し（有効期限内のもの）  
※派遣先の国によって入国時やビザ申請時にパスポートの残存有効期限に条件があります。  
各自条件をご確認の上、有効期限には十分注意してください。

### 7-2. 応募受付期間及び受付場所

【受付期間】： 10月16日（月）～11月2日（木）17時まで【厳守】

【受付場所】： OIC学びステーション

受付時間を厳守してください。11月2日（木）以降は一切受け付けません。

申込時に面接日時の予約を併せて行います。

最終日ではなく、事前に十分余裕を持って書類を準備してください（不備がある場合は受理できません。）

## 8 選考方法について

選考は、申込レポート・成績・派遣先大学が求める語学基準を満たしているかを重視して、担当教員が書類審査及び面接を行い、経営学部教授会での審議を経て決定されます。

【面接期間】： 11月6日（月）～11月8日（水）

【派遣許可者発表】： 11月29日（水）【CAMPUS WEB】

## 9 留学に関わる費用・奨学金について

交換留学の場合には、学費は本学と留学先大学との間で相殺になるため、留学先に学費を支払う必要はありません。

### 9-1. 主な費用

- ・包括海外旅行保険費用（※派遣者全員、大学が指定する保険に加入）
- ・ビザ取得の為にかかる費用
- ・渡航費（航空券）
- ・現地出入国税、空港税、航空保険料
- ・寮申請費および寮費
- ・現地での交通費
- ・教材費等
- ・クリーニング代、電話代、お土産代などの雑費
- ・娯楽費
- ・医療費（特に現地での歯の治療にかかる費用は日本の数十倍かかる場合があります）

#### 【注意点】

- ・寮費、教材費等は派遣先大学で徴収されます。（レディング大学のみ、授業料の徴収も有り）
- ・派遣先大学の事情により、学生寮に必ずしも入れるとは限りません。その場合は、速やかに経営学部事務室までご相談下さい。
- ・費用は、物価の上昇、為替相場によって変動しますのであくまでも参考としてください。

参加費用の過年度実績については、「2018年度版 BSA II・IV 参考資料（英語圏/中国語圏）」を参照してください。

### 9-2. 奨学金

#### 1) 立命館大学海外留学チャレンジ奨学金

原則として派遣者全員に「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」が支給されます。なお、奨学金は派遣中に学生本人名義の口座に給付されます。

プログラム名	派遣先大学名	派遣期間	奨学金金額
BSA II	大連外国語大学	1 Semester	15万円
	対外経済貿易大学		
	タマサート大学ビジネススクール		25万円
	ストックホルム大学ビジネススクール		
	ストラスブル大学EMストラスブルビジネススクール		
	エセムビジネススクール		
	プレーメン州立経済工科大学		
	アーヘン応用科学大学		
BSA IV	大連外国語大学	2 Semester	20万円
	対外経済貿易大学		
	タマサート大学ビジネススクール		30万円
	ストックホルム大学ビジネススクール		
	ストラスブル大学EMストラスブルビジネススクール		
	エセムビジネススクール		
	プレーメン州立経済工科大学		
	アーヘン応用科学大学		
BSA IV 【派遣型】	レディング大学	2 Semester	30万円

※2017年度派遣より奨学金の金額が変更されています。

※奨学金の金額は今後変更となる場合があります。

#### 2) 立命館大学海外留学サポート奨学金

経済上の事由により、プログラムへの参加または参加継続が困難であることが見込まれる者に対し、参加費用の一部を補助することによって、参加の支援を行うことを目的とする制度です。

海外留学サポート奨学金には、「予約採用型」「家計急変型」の2つのタイプがあり、いずれも要項に定められた家計基準を満たす場合に、奨学金選考の対象となります。給付額や申請・選考方法などの詳細は、以下を確認してください。

<https://secure.ritsumei.ac.jp/studyabroad/scholarship/>

#### 3) JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）海外留学支援制度

立命館大学から支給される奨学金とは別に、JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）が所管する奨学金に採択された派遣国がある場合は、別途受給要件を告知した上で選考を行います。

※奨学金によっては併給できないものがあります。事前に経営学部事務室またはOIC国際教育センターに確認を行ってください。

## 10 単位認定と成績評価

BSA II・IVの留学先で修得した単位は、本人による単位認定申請を受け、所定の基準に基づいて、本学で修得すべき授業科目の単位として認定を行います。本学以外で学生が修得した単位の認定は、学部の履修規定等に従い、派遣先大学で受講した科目の内容・レベル、授業時間数等に基づき行われます。単位認定数や単位認定分野・科目については、派遣先大学や各自の履修状況により異なりますので、ご注意ください。

留学前に学部事務室で履修科目や単位認定について相談の上、留学中と帰国後の学修計画を立てておく必要があります。

- ・認定された単位の成績評価には「N」が記載されます。
- ・認定された場合のみ60単位を上限として本学の単位として認定されます。  
※大学コンソーシアム等で受講科目の単位認定がすでに行われている場合は、その認定済み単位数を前述した上限単位数から差し引いた単位数までしか新たに認定されませんのでご了承ください。
- ・単位認定に関わる申請書類および派遣先大学の成績証明書と受講した科目のシラバス（原文及び和訳）を各自準備して下さい。

過年度派遣学生の単位認定実績（参考） ※最小単位数～最大単位数（過年度実績）を表記しています。

派遣先大学	BSA II	BSAIV
大連外国語大学	10～25単位	40～50単位
対外経済貿易大学	10～20単位	40～54単位
タマサート大学ビジネススクール	10～18単位	実績なし
ストックホルム大学ビジネススクール	5～10単位	6～15単位
ストラスブル大学 EMストラスブルビジネススクール	5～10単位	6～15単位
エセムビジネススクール	実績なし	15～35単位
プレーメン州立経済工科大学	8～15単位	15～20単位
アーヘン応用科学大学	実績なし	実績なし
レディング大学		22～35単位

## 11 注意点

- (1) 派遣先大学への応募書類の準備、ビザの申請、航空券の手配などは全て各自で手続きする必要があります。経営学部事務室では対応していません。
- (2) 現地での留学・実習期間が定期試験の追試や成績確認制度の日程と重なる場合は、それらを受けることはできません。また、それに対する特別措置はありません。
- (3) 経営学部での選考において派遣内定者として決定したのち、派遣先大学に応募書類を送ります。受入の可否についての最終決定権は派遣先大学にありますので注意してください。また、派遣先大学によっては応募時に別途インタビューなどが課せられる場合があります。
- (4) 留学先での履修については、派遣先大学での規定に則ります。言語能力や履修規定によって履修科目が制限されることがあります。また、正規科目以外の語学科目（ESL等）や、履修する科目があらかじめ指定される場合もあります。
- (5) 本学及び派遣先が定める期間内に出入国するようにして下さい。  
（アジア圏は、プログラム開始・終了日の前後3日以内。その他の国地域は、プログラム開始・終了日の前後5日以内）
- (6) 日本学生支援機構奨学金受給者の方は、派遣決定後速やかに学生オフィスに報告を行い、必要な手続きを取ってください。
- (7) 3回生・4回生時に留学に行く場合、就職活動など個人的事由による帰国は一切認められませんので、事前に必ずキャリアオフィスや経営学部事務室に相談してください。

## 12 個人情報について

応募書類に記入する個人情報は、本学からの連絡に使用するほか、今後のプログラム内容の改善を図るための学内統計資料として、個人を特定することのできない形に加工した統計処理用のデータとして使用する場合があります。

また、本学が留学の参加者に代わって派遣先大学、旅行会社、保険会社、危機管理支援サービスを提供する会社、海外用携帯電話レンタルサービスを提供する会社、航空会社、関係省庁および在外公館等に、必要な情報についてのみ提供します。